

単元名 作品の世界をとらえ、自分の考えを書こう

教材文「やまなし」 補助資料「イーハトーヴの夢」(光村図書6年)

1 単元について

【単元観】

本教材は、かにかの兄弟の様子、かわせみややまなし、情景描写など、「五月」と「十二月」を対比することで、「生と死」「奪われるものと与えるもの」などの世界観を読み取ることができる文学的な文章である。作者の幻灯を表したものであることや、作者による造語、比喩表現、擬音語、擬声語が数多く使用されていることから、初見で文章の内容を理解することは難しい教材である。しかし、これまでの小学校生活で学習してきた「読むこと」の力を活用して読み進めることで、作者である宮沢賢治の生き方や考え方に迫ることができる教材であると言える。

また、補助資料として「イーハトーヴの夢」がある。広い知識と理想をもつ宮沢賢治の生き方や考え方をすることができる資料である。本資料と「やまなし」を合わせて学習することで、宮沢賢治の考え方と重ねて読むことができると考える。

【児童観】

本学年の児童は、昨年度1月に実施した標準学力調査で、国語科の正答率が80.8%(全国平均正答率74.5%)、今年度8月に実施した全国学力調査で、国語科の自校採点の正答率が80.2%(令和元年度全国平均正答率63.8%)と高く、国語科の学習内容は定着していると言える。一方で、標準学力調査において「登場人物の心情を読み取ることができる」の設問で正答率が64.1%(全国正答率73.7%)、全国学力調査において「複数の叙述を関係付け、登場人物の心情について自分の考えをまとめることができるかどうかをみる」の設問で正答率が65.1%となっており、読むことの領域、特に物語の内容を読み取ることに関心があることが分かる。

【指導観】

本単元の指導に当たっては、作者が作品に込めた思いを考える力や叙述を基に登場人物の心情を読み取る力を育てる。

まず、「やまなし」の学習の前に、第5学年で学習している「注文の多い料理店」と、新たに学ぶ「雨ニモマケズ」の主題を確認する時間や、補助資料である「イーハトーヴの夢」を読む時間を設ける。そこで、「宮沢賢治は」という書き出しで、生き方や考え方をまとめたい。作者の生き方、考え方を先にまとめて知っておくことで、「やまなし」の主題に迫る際の手がかりになると考える。

次に、「やまなし」の学習では、①「五月」「十二月」のそれぞれに描かれている世界感を捉える時間、②出来事や情景描写を取り上げて対比しながら主題に迫る時間に分けて行う。初見では文章の内容を理解することが難しいので、段階的に読み進めていくことで主題に迫る準備を行う。②では、児童感での課題を受け、本教材でよく使われている色彩表現や、比喩表現、叙述に注目することで、作品を深く読み取ることができると気付かせたい。対比しながら主題に迫る時間では、かわせみややまなしがかにかの兄弟に与えた影響とはどんな物だったのかを考え、比べる。その際、先に書いた「宮沢賢治は」の文と関連させることで作者が作品に込めた思いを考えさせたい。

最後に、本単元を通して学んだことを、「文学的な文章を読む時のポイント」として葉にまとめる活動を行う。今後の読書活動等で活用させ、作者が作品に込めた思いを考えながら、読書に取り組むことができるようにする。

2 単元の目標

- 比喩や反復などの表現の工夫に気付くことができる。【知識及び技能 (1)ク】

- 人物像や物語の全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりすることができる。【思考力，判断力，表現力等 C(1)エ】
- 文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えをまとめることができる。【思考力，判断力，表現力等 C(1)オ】
- 表現や構成等に着目して作品世界を捉えることに粘り強く取り組み，学習の見通しをもって自分の考えを書くことができる。【学びに向かう力，人間性等】

3 単元の評価規準

知識及び技能	思考力，判断力，表現力等	主体的に学習に取り組む態度
比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。	人物像や物語の全体像を具体的に想像したり，表現の効果を考えたりしている。 文章を読んで理解したことに基づいて，自分の考えをまとめている。	表現や構成等に着目して作品世界を捉えることに粘り強く取り組み，学習の見通しをもって自分の考えを書こうとしている。

4 つけたい資質・能力

主体性	「五月」と「十二月」の対比を通して，情景描写や登場人物の言動から作品世界を捉え，作者の世界観を読み取る力をつけ，進んで読書活動に取り組むことができる。
コミュニケーション能力	叙述をもとに，作者の世界観を読み取る活動を通して，他者との共通点や相違点に目を向け，友達と伝え合うことで，考えを深めることができる。
メタ認知	学習活動を振り返り，自分の考えをまとめる力がついたこと，友達と話し合うことで，自分の考えを広げたり深めたりする力がついたことを客観的に振り返り，国語科や総合的な学習の時間など今後の学習への意欲へつなげることができる。

5 単元計画（全 時間）

次	時	学 習 内 容	評 価			
			知・技	思・判・表	態度	評価規準（評価方法）
一	1	情報の収集 既習（5年時）の「注文の多い料理店」，「雨ニモマケズ」から，宮沢賢治の生き方・考え方を捉え，学習の見通しをもつ。		○		・作品から読み取れる，宮沢賢治の生き方・考え方について捉えようとしている。【思・判・表】（ワークシート，行動観察）
	2 本時	情報の収集 補助資料「イーハトーヴの夢」を読んで，宮沢賢治の生き方・考え方を捉え，短い文にまとめる。		○		・宮沢賢治の生き方・考え方について捉え，短い文にまとめている。【思・判・表】（ノート・ワークシート）
二	3	課題の設定 「やまなし」を読み，初発の感想や疑問に感じた点を書く。			○	・やまなしを読み，初発の感想や疑問に感じた点を書いている。 ・【態度】（ノート）

4	整理・分析 ・「やまなし」の五月を読み、内容を把握する。 ・「文学的な文章を読む時のポイント」をまとめる。	○			・「やまなし」の五月を読み、内容を把握している。【知・技】(ノート)
5	整理・分析 ・色彩語や比喩表現を見つけ、その言葉から感じ取れることをまとめる。 ・「文学的な文章を読む時のポイント」をまとめる。	○			・色彩語や比喩表現を見つけ、その言葉から感じたことを書いている。【知・技】(ノート)
6	整理・分析 「文学的な文章を読むときのポイント」を使いながら、十二月の内容を把握する。	○	○		・既習を使いながら十二月の内容を把握している。【思・判・表】(ノート)
7	まとめ・想像・表現 ・五月と十二月がかにの兄弟にとって、どのような世界なのか考える。 ・宮沢賢治が二つの世界を描いた理由を考える。 ・「文学的な文章を読むときのポイント」をまとめる。		○		・対比しながら読むことで作者が「やまなし」に込めた思いを考えている【思・判・表】(ノート)
8 ・ 9 ・ 10	振り返り ・学習した「文学的な文章を読む時のポイント」を使いながら宮沢賢治の他の作品を読む。 ・宮沢賢治が作品に込めた思いをそれぞれの作品でまとめる。		○	○	・既習事項を使いながら宮沢賢治の他の作品を読み、作者が作品に込めた思いを考えている。 【知・技】(評価カード)

6 本時の学習

(1) 本時の目標

文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめることができる。 【読むことオ】

(2) 観点別評価規準

補助資料「イーハトーヴの夢」を読んで、宮沢賢治の生き方・考え方を捉え、短い文にまとめている。 (読むことオ)

(3) 準備物

掲示物(フィッシュボーン図)、ワークシート

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項(・) 「◆努力を要する」状況と判断した 児童への指導の手立て	評価規準(○) (評価方法)
導入	学習したこと 1 前時の活動を振り返り、本時の学習を確かめる。	・宮沢賢治の作品から読み取ったことを確認する。	・フィッシュボーン図
展開	めあて 「イーハトーヴの夢」を読み、宮沢賢治の生き方、考え方をまとめよう。		

	<p>2 「イーハトーヴの夢」から読み取れる賢治の生き方，考え方について捉える。</p> <p>まとめ</p> <p>3 グループで考えを交流し，フィッシュボーン図にまとめる。</p> <p>4 グループの考えを全体交流し，フィッシュボーン図を完成する。</p> <p>見通し</p> <p>5 完成したフィッシュボーン図を分析，整理し，まとめの構想を練る。</p> <p>6 宮沢賢治の生き方，考え方について短い文にまとめる。（100字程度）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・読み取ったことを，グループで交流する。 ◆教科書に引いた線の部分から読み取れることをまとめるようにする。 ・資料を根拠に，説明をするように確認する。 ◆他の児童の考えに触れながら，グループで課題をまとめることで理解を進める。 ・各グループの考えを黒板に掲示し，交流する。 ・各グループの共通点や相違点などを確認しながら，フィッシュボーン図にまとめる。 ・朱書きで記述内容を関連させたり，必要と考える箇所を丸で囲んだりする。 ・条件に合わせて，「宮沢賢治は，」の書き出しで始まるまとめの文を書く。 ◆途中で数人発表させ，なかなかまとめられない児童のモデルとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・フィッシュボーン図の一部（グループ用） ・宮沢賢治の生き方・考え方を捉え，自分の考えを文にまとめている。（ワークシート）
<p>まとめ</p>	<p>振り返り</p> <p>7 振り返りをする。</p>		
<p>☆目指す児童の姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賢治の生き方，考え方をまとめたことで，作品を読みたいと思いました。 ・農民のために命をかけた賢治の思いを他の作品から見つけたいと思った。 			

(5) 板書計画

